

かごしまブランド

県内各地から

KAGOSHIMA BRAND

東串良のきゅうり

みずみずしくしゃきしゃきした食感がたまらない。ごちそうきゅうり。



右上が青果用品種の「輝世紀」。
左がいぼがなく加工用にも使われる品種「フリーダム」。

東串良 鹿屋・肝付 の 景



柏原海岸／日南海岸国定公園南端に位置する柏原海岸は、白砂青松の景勝地で春には海岸線5haにおよぶルービンの花畑が広がります。ルービンの咲き誇る時期には「ルービン祭り&潮干狩り」、「柏原大相撲」が盛大に開催されます。また、沖合には志布志国家石油備蓄基地の雄大な人工島を見ることができます。

●問い合わせ先／東串良町 企画課 0994(63)3131



串良平和公園／第二次世界大戦時の「串良海軍航空隊」跡地で、公園内には約2,000本の桜並木が整備されています。公園敷地内にはほかにも陸上競技場・野球場や地中海をイメージして造られた広さ15,000㎡のレジャーボール「アクアゾーンくしら」、総合体育館の「串良平和アリーナ」もあり、近隣の方々が各種スポーツに汗を流しています。

●問い合わせ先／串良平和アリーナ 0994(31)4500



二階堂家住宅(国指定重要文化財)／元衆議院議員 故二階堂 進氏の生家であるこの建物は、文化7年(1810年)頃、建てられたもので、「おもて」と「なかえ」で構成されており、これらが直交した雁行型の寄せ棟造りが特徴です。これは旧鹿児島藩領に分布する分棟型民家のうち、手法の発展した形式を持つもので、県南部の特色を備えた良質の民家であったと推測されます。

●問い合わせ先／肝付町企画課 0994(65)2511

鹿児島県大隅半島の中央部に位置する東串良町や鹿屋市串良町、肝付町では、黒潮の影響を受ける温暖な気候のもと、ピーマンやきゅうりの施設栽培が盛んに行われている。平成4年の「東串良のピーマン」に続き、平成20年5月に「東串良のきゅうり」としてかごしまブランド産地に指定された。平成19年産実績では、1市2町で61戸の生産者が約16ヘクタールを栽培し、出荷量は約3,000トン。11月上旬から6月下旬まで、名古屋を中心に大阪・福岡などに出荷されている。

東串良町にある栽培農家 松留義信まつどろよしのぶさんのビニールハウスでは、降り注ぐ太陽の光の中、つややかな濃い緑色のきゅうりが鈴なりに並んでいた。「みずみずしさの中にほのかな甘みがあり、味の良いものができています」と今年の品質に顔をほころばせる。

「天候の影響を受けやすいので、生育状態にあわせて、こまめにハウス内の湿度を管理したり、水や肥料を調整しています。重油高騰対策のため、ハウスのビニールを厚めにするなど工夫をしています」と栽培に地道に取り組んでいる。「かごしまブランド産地に指定されたことは本当にうれしいです。かごしまの農林水産物認証も取得していますが、今までの生産や安心・安全の取り組みにさらに自信ができました。生産者全体でさらに一致団結してブランド名に恥じない、今以上に安定的な品質と出荷に努めていきたいと思っています。1本1本に愛情と情熱を込めて一生懸命作っているので、できるだけたくさんの方においしく食べていただけたら」と今後の抱負を力強く語る。

松留さんによるお薦めの食べ方は、「厚めに切って、ごま油としょうゆをかける

とおいしいですよ。きゅうりには利尿作用があるので、二日酔いにもお薦めです」とのこと。

さっそく試してみると、みずみずしくしゃきしゃきした歯触りが抜群で、シンプルな味付けが本来のさわやかな味わいを引き立てていて本当においしい。90%以上が水分で、カリウム、ビタミンC、葉酸を豊富に含むきゅうり。免疫機能を高める効果や、体調を整えたり、解毒、緊張緩和、美肌の作用もあるといわれている。

しゃきとした食感が魅力で、彩りもよく、幅広い料理にも合う身近な食材のきゅうり。生食はもちろん、炒め物など毎日の料理に積極的に取り入れていきたい。